

糸満市立兼城小学校

TEL : 098-994-6321

Eメール : kanesy@kanegusukus.city.itoman.okinawa.jp

## 1 実践事項（今年度の実践）

- (1) 兼城小学校学力向上推進計画を基に全児童・全学年を対象とし、組織的・計画的な実践。
- (2) めざす子どもの姿と校内研テーマを共通理解・確認を行い、校内研修の推進する。
- (3) 学校・家庭と連携を密にし、児童の学力の定着・向上を図る。

タイトル：「めあてに向かってねばり強く取り組む子の育成」

## 2 実践内容（説明資料を含む）

（兼城小学校の学力向上推進計画より）

- (1) 全学年、全児童を対象とし、学校を挙げて組織的・計画的に取り組む。

- ①基礎学力の向上を目指し、朝の学習タイム「兼小タイム」を実施。

※毎週火曜日と木曜日（①辞書引き・コグトレ、②タブレットドリル）

- ②全国学力状況調査の結果を分析し、落ち込みの問題を全職員で確認。その結果を基に各学年で課題に対する対策を話し合い授業改善に繋げる。（全体で共有する）

- (2) 研究主題やめざす子どもの姿を共通理解した上で、校内研修を推進する。

- ①校内研修「伝え合う力を高める学習指導の工夫」をテーマに全体研修、隣学年研修を実施し、授業改善に繋げる。

（がんばりノートリレー）

（朝の兼小タイム）



- (3) 家庭と連携し、共に児童の学力の向上を目指す。

- ①がんばりノートリレーの実施。

- ②自学自習「めもふチャ」の取り組み。

### 【めもふチャのねらい】

「めあてを立てる・問題を解く・学習を振り返る・チャレンジ問題をやる」を積み重ね PDCA サイクルを習慣化し、主体的に学習に取り組む児童の育成を図る。

## 3 成果と課題

〈成果〉○朝の学習タイム（タブレットドリル、辞書引き）を設定することで、既習事項の復習や個の学習進度に合わせて問題を解き進めることにより学習の定着に繋げることができた。また、辞書引きを習慣づけることで語彙力を広げるきっかけとなった。

○自学自習を進めるなかで、めあて→振り返りをするにより学習で不足している部分や間違いに自ら気づき学習に対する意識が高まった児童が増えてきた。

〈課題〉●自学自習の取り組みは定着しつつあるが、内容を深めるための工夫が必要である。

●全国学力調査等において、国語科・算数科ともに必要な情報を収集して関連付けて解くことや条件を満たして記述することに課題が見られる。